

## 常に不安を抱え続けてきた 店舗経営

小田急線祖師ヶ谷大蔵駅北側に広がる祖師ヶ谷商店街。メインストリートを曲がってすぐの場所に鈴木章夫さんが営む「とんかつ鈴の家」がある。

「学校を卒業し、5年間とんかつ屋で修行した後に独立したのは1977年。もう40年以上ここで商売をしてきました。」と話す鈴木さん。

朝は開店の11時半に合わせ、10時から仕込みに入る。出前も人気で学校や会社の会議のために20人前や40人前の料理を届けることも少なくない。

客層は高齢者から若い世代まで幅広く、最近はグルメサイトを見て訪れたのか、初来店のお客様も増えてきた。

経営的に大きなピンチに出会ったことはないが、とんかつ屋は、他の飲食店と異なり、メニューで応用が効きにくい。また揚げ物はお客様が年を重ねると来店頻度が減っていく傾向にあり、常連客を確保しにくいことをいつも危惧してきた。さらに飲食業という浮き沈みの激しい業種であることで鈴木さんの不安は大きかったという。



## 3時間が短く感じた 商人大学校の講義。 学んだ内容を即、店舗改装に活かす

そのような中で2018年の夏に知ったのが、振興公社の商人大学校飲食店コースだった。商店街の回覧板に受講生募集の案内が添えられていたのがたまたま目に止まった。

「今まで無我夢中で仕事をする中、どうすればお客様に満足いただき、また利益も出せるのか、一度、商売についてしっかり勉強してみたいと思つていました。講座内容を見るとどれも興味深いものばかりでした。しかも開講日が定休日の火曜日だったので迷うことなく申し込みました。」

一回一回の講座を受ける中で、今まで持ち続けてきた不安が解消していく手応えを感じた鈴木さん。講師が話す内容は一言でも聞き漏らすまいとメモを真剣に取つた。また、そこで語られる様々な店舗経営の課題は、一つひとつが自分の店に当てはまり、その改善策はすぐにでも実践したいのが多かったと話す。

学校を何十年も前に卒業し、長時間集中して話を聞き続けることができるか、心配していた鈴木さんだったが、講義時間の3時間はあつという間に終わり、いつも「もっと学びたい」と思ったという。また講義は、ただ聞くだけではなく

つの店舗を例にして、受講者が店主になつたつもりで様々な意見を出しあう「事例研究」などもあり、飽きることはなかつた。また自分と同じように問題意識を持つて参加した受講生ばかりで、すぐに打ち解けることができた。

商人大学校の基礎講座が終わって、すぐ鈴木さんが取り組んだのは店内の改装だった。様々な講師の話に共通していたのは、店内に入ったときにお客様が好印象を感じる店づくりだった。そのため、今まで以上にスッキリと清潔感のある内装に変えた。それに伴い、メニューも毛筆が上手な友人にお願いし、味わいのあるものに刷新した。

壁紙には、シンプルな色合いの中に角度を変えると光つて見えるハートマークがところどころに施してある。そのことに気づき、楽しそうに他のハートマークを探そうとするお客様も中にはいる。それは少しでも和やかにすごしてほしいとの思いで鈴木さんが発案したものだ。



鈴木章夫さん

鈴木さんは商人大学校を修了後、商店主スキルアップ事業も依頼した。「最初に専門家の方が訪問してきた際には、今まで感じてきた悩みなどを率直にお話ししました。それに対して具体的なアドバイスをいたいたたいたのですが、どれも的確なマーケティング戦略でさすがに飲食

このようなどころにも商人大学校で啓発され、自分なりに工夫してみようという意欲が注がれている。



## 専門家からの戦略的な提案に感銘。 学ぶことで痛感した 自分自身を向上させる大切さ



それに加えて、商人大学校や専門家派遣で学ぶことで自己啓発し、人生が豊かに、有意義になっていくことを感じた。また、漠然と生活のために料理を提供するのみではなく、常に向上心をもつて生きる素晴らしい体験できたことが、大きな成果だったという。「おじいちゃん、一生懸命、勉強しているね」と孫から言われるよう、今後も学ぶことを続けていきたいと抱負を話した。

をメインにコンサルティングを行つてきました方だと感銘を受けました。」

それに加えて2度目の訪問の際には前回ヒアリングした内容に基づいて、売上アップ、集客アップに対する戦略が提案されており大きな感動を得た。

しかし、家族経営であるため病気やケガのリスク等、すべての不安が解消したわけではなく、危機感を持っている。

そのような危機意識の軽減を図るために、鈴木さんは機会があればまた商人大学校で学び、一つ一つ積み重ねて仕事に活かしたいと考えている。



## Information

店名／とんかつ鈴の家  
業種／とんかつ・揚げ物  
所在地／世田谷区祖師谷3-33-2  
営業／11:30～14:30 17:00～21:00  
電話／03-3484-0447

【活用プログラム】  
商店主スキルアップ事業  
商人大学校

